

# 学習指導案（国語科）

指導教諭  
授業者

- 1 対象 第1学年3組 30名
- 2 日時 令和元年6月13日（木曜日）第5校時 13:25～14:15
- 3 場所 1-3教室
- 4 単元名  
現代文（物語）  
かかわりをとらえる―「空中ブランコ乗りのキキ」別役実（『現代の国語1』三省堂）

## 5 単元について

### (1) 単元の目標

- ・場面の展開や登場人物に注意して読む。
- ・登場人物同士の関わりを捉え、それぞれの人物の描かれ方に注目して物語を読むことができる。
- ・作者の表現の工夫を考えながら、ファンタジー作品の面白さを味わう。
- ・登場人物の生き方について考えを深め、自らの生き方について考える。

### (2) 教材観

この教材は、読みやすい物語文でありながらも、人間の生き方や幸せとは何か、といった深いテーマについて考えさせられる作品である。また、比喩の表現技法が登場人物の様子や感情を表すのに効果的に使われている。こういった特色を持つ本教材は、中学校に入学して本格的に取り組む一つの文学的文章としてふさわしいものであるといえる。生徒たちは4月に「オオカミの友だち」の学習を通して主人公の気持ちの変化を捉えることを学習している。本教材では、さらに視野を広げ、主人公だけでなく他の登場人物にも注目し、それぞれの主人公との関わりや考え方の違い、またそれが主人公にどんな影響を与えているのかを考えることを学習させたい。

### (3) 生徒観

1年3組の生徒は活発ではあるが、比較的落ち着いたクラスである。生徒同士の仲もよく、良い雰囲気の中で問いに対しての発言やグループ活動を積極的に行うことができる。生徒全員の理解を深めるためにも生徒同士の教えあいやグループワーク等の活動を通して効果的に学習させたい。

### (4) 指導観

物語文などの文学的文章では、登場人物の考え方や行動、そして登場人物同士の関わりに注目して読むことが物語を理解する上で重要なポイントとなる。そのため、深い理解につながる読み方を中学1年生の初めの段階でしっかりと身につけさせたい。授業では、人物相関図を作成して登場人物同士の関係を捉えたり、場面ごとの登場人物の会話に注目して主人公の心情の変化を考えたりすることで、効果的に学習させたい。また、物語を理解するだけでなく、登場人物の考え方や行動について自分なりに考えたり、他の人の意見を聞いたりする機会を設けて、自らの考えを深めさせたい。また、比喩をはじめとした表現技法とその効果についても理解させたい。

## 6 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	読む能力	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファンタジー作品の面白さを味わいながら積極的に授業に取り組んでいる。</li> <li>・主人公の生き方について理解を深め、自分の生き方を考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを言葉にして伝えることができる。</li> <li>・他の人の意見を聞いて考えを深めることができる。</li> <li>・周りの人と協力してグループ活動を行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の展開や登場人物の心情に注意しながら物語を読むことができる。</li> <li>・登場人物同士の関係性や会話に注目して物語を読むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の展開や、登場人物の生き方について自分の考えをもち、文章にすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比喩表現の技法について理解している。</li> <li>・作者の表現の工夫について考えることができる。</li> </ul>

## 7 単元の指導計画（総時数6時間）

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価の観点)
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朗読の音声を聞きながら物語を通読し、話の内容をつかむ。</li> <li>・新出漢字の読み方を確認する。</li> <li>・登場人物の確認をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファンタジー作品の面白さを感じるために、朗読に合わせ文章を目で追いながら読むよう指示する。</li> <li>・比喩表現は登場人物には入らないことを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の内容をおおまかに理解している。</li> <li>・登場人物がそれぞれどんな人物か把握できている。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人物相関図の説明</li> <li>・班ごとに人物相関図を作成し登場人物同士の関係を捉える。</li> <li>・班ごとに出来上がった人物相関図の発表をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な人物相関図の例を出すことで、相関図作成のイメージがわかりやすいよう工夫する。</li> <li>・相関図に書き込む矢印を工夫し、視覚的にわかりやすい相関図を作成するように指示する。</li> <li>・グループ活動が円滑にすすむよう、机間巡視で適宜声掛けや指示を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班で協力して課題に取り組んでいる。</li> <li>・矢印や囲み線等を用いて工夫して相関図を作ることができる。</li> <li>・登場人物同士の関係を捉えられている。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一場面（p. 54・1行目～p. 55・15行目）と第二場面（p. 55・16行目～p. 56・10行目）のはじめにおける、キキの心情を捉える。</li> <li>・登場人物との関わりがキキにどんな影響を与えたかを読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の関わりや心情が理解しやすいようワークシートを工夫する。</li> <li>・適宜生徒への発問を一方的な授業にならないよう留意する。</li> <li>・生徒の理解を促す発問をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公の心情を考え、捉えられている。</li> <li>・登場人物が主人公に与えた影響をつかめている。</li> </ul>
4 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二場面におけるキキの心情と、キキとロロの会話から登場人物ごとの考え方の違いを捉える。</li> <li>・登場人物の考え方に対しての自分の考えを書く。</li> <li>・5人班になりグループ内で意見を交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両者の考え方の違いが理解しやすいようにワークシートを工夫する。</li> <li>・生徒が考えやすいような発問やワークシートになるよう留意する。</li> <li>・班の中で発表する順番などをあらかじめ指示し、意見の交流が円滑になるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キキとロロの対照的な考え方を理解できている。</li> <li>・登場人物の考え方について、自分なりの意見をもち、文章にすることができる。</li> <li>・班の中で意見を交流し、考えを深めている。</li> </ul>

5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三場面 (p. 56・11行目～p. 58・18行目) におけるキキの心情を捉える。</li> <li>・もし自分がキキだったらどうするかを考え周りとの意見を交換する。</li> <li>・物語におけるおばあさんの役割について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おばあさんとの関わりで、キキの心情にどんな変化があったのかがわかりやすいように工夫する。</li> <li>・おばあさんがキキに四回宙返りをする決意をさせるきっかけとなっていることをおさえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公の心情の変化を捉えられている。</li> <li>・登場人物の役割について考えられている。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第四段落 (p. 58・19行目～p. 6113行目) におけるキキの心情を考える。</li> <li>・キキの行動や生き方についての自分の意見を持ち、自分の言葉で文章にする。</li> <li>・白い大きな鳥について考える。</li> <li>・物語の中の比喩表現に注目し、その効果を考える。</li> <li>・この単元での学習の振り返り。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キキがなぜこの決断をしたのか、今までのキキの心情の変化を振り返りながら捉えさせる。</li> <li>・文章を考える際のキーワードを提示する。</li> <li>・比喩表現の効果についてもおさえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公の決断を理解できている。</li> <li>・生き方についての違いを理解し、自分の考えを文章で書くことができる。</li> <li>・比喩表現について理解できている。</li> </ul>

## 8 本時案 (第4時)

### (1) 本時の目標

- ・登場人物の会話から、登場人物同士の考え方の違いを理解する。
- ・登場人物の生き方についての考えを理解し、自分なりの考えをもつ。

### (2) 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価の観点・方法
導入 5分	①前時の振り返り ・前時では第一場面のキキの気持ちについて考え、第二場面のキキの様子まで考えたということを振り返る。  ②本時のめあての提示 ・板書をワークシートに写す。	・振り返りのため、時間がかかりすぎないように注意する。	・前時の内容を把握できている。
めあて：登場人物の考え方の違いを理解しよう			
展開 15分	③ワークシートを使って、キキとロロの会話から両者の考え方の違いを捉える。	・生徒に多く問いかけをすることで、一方的な授業にならないように留意する。	・登場人物の会話から登場人物の考え方を捉えられている。

5分	④ロロとキキの考え方について、自分の意見を書く。 【ワークシート発問内容】 ・キキとロロの考え、あなたならどっち？ ・なぜそう考えるか？	・生徒が考えやすいよう、発問の言葉やワークシートのデザインを工夫する。	・登場人物の考え方について自分なりの考えをもつことができる。  ・自分の考えを文章に表すことができる。
10分	⑤生活班ごとに5人ずつのグループになり、個人で考えた意見を順番に発表する。 ・他の人の意見をワークシートにメモする。	・出席番号が一番早い人から時計回りに順番に発表するよう指示する。	・自分の考えを伝えたり、他の人の意見を聞いて考えを深めることができる。
5分	⑥班ごとの代表者がクラス全体に向けて、どちらの考えが多かったか、どんな意見が出たかを発表する。	・キキの置かれている状況は特殊なため、なかなか理解しづらいかもしれない。あまりにロロ派が多ければ、怪我をしてドクターストップがかかった運動部…などの例を話す。	
3分	⑦キキがこの考えに至った理由を確認する。	・登場人物との関わりがキキの考えに影響を与えていることをおさえる。	
5分	⑧ロロとキキの考えの違いについて、ワークシートを用いて確認する。 【ワークシート発問】 ・ロロとキキの考えはどのように違う？	・生徒から二人の考えを簡潔にまとめる文章を引き出したいが、難しそうであれば補助発問として「人気」と「命」ということばを使って考えるよう指示する。	・登場人物の考え方の違いを理解できている。
まとめ 2分	⑨今日の授業の振り返りと 次回の連絡 ・ワークシートの回収	・キキとロロの考えの違いと、この場面でのキキの心情について学んだこと、価値観は人それぞれで多様であるということを振り返る。 ・次回は第三場面を見ていくことを伝える。	・ワークシート

ご講評欄